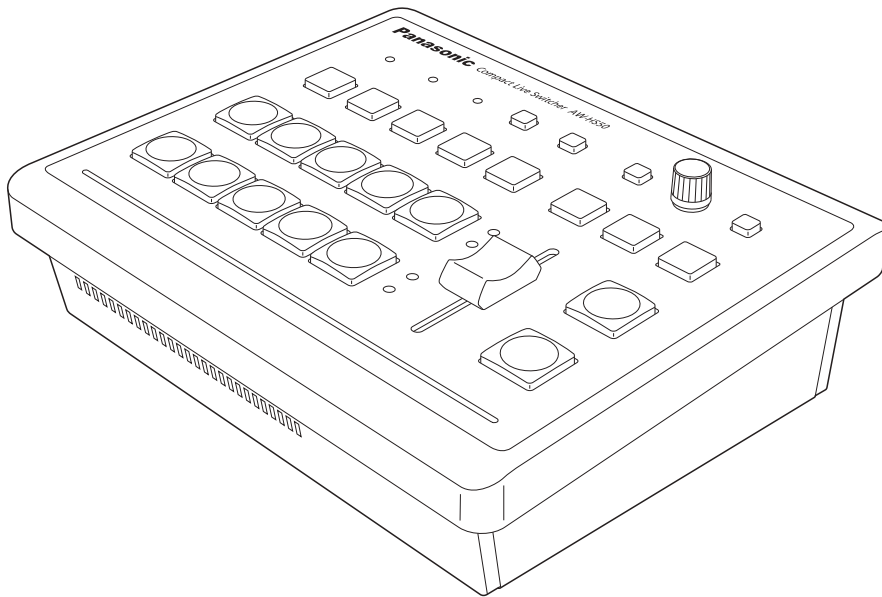


Panasonic®

取扱説明書 基本編

コンパクトライブスイッチャー

品番 **AW-HS50**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～6ページ)を必ずお読みください。
- 本機の操作や設定のしかたは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書 操作・設定編」(PDF ファイル)をお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

もくじ

安全上のご注意.....	3	2. 準備.....	20
はじめに.....	7	2-1. 設置上のご注意.....	20
概 要.....	7	2-2. 他の機器と接続する.....	21
取扱説明書について.....	7	2-2-1. ブロックダイアグラム.....	21
商標および登録商標について.....	7	2-2-2. 接続例.....	22
著作権について.....	7	2-3. 電源の入れかたと切りかた.....	24
定格表示について.....	7	2-4. 映像出力の確認.....	24
免責について.....	8	2-4-1. PC モニターに表示する.....	24
ネットワークに関するお願い.....	8	2-4-2. SDI モニターに表示する.....	25
特 長.....	9	2-5. OSD (オンスクリーンディスプレイ)	
付属品.....	11	メニューの操作.....	26
必要な PC の環境.....	11	2-5-1. OSD メニューの表示/消去.....	26
個人情報保護について.....	11	2-5-2. OSD メニューの強制表示方法.....	26
使用上のお願い.....	12	2-5-3. メニュー構成と移動.....	27
1. 各部の名前とはたらき.....	13	2-5-4. サブメニューでの操作.....	28
1-1. 制御パネル部.....	13	2-5-5. 取扱説明書での表記.....	29
1-2. 背面部.....	18	2-5-6. USER ボタンと OSD/TIME ダイアルでの	
		ダイレクト操作.....	30
		2-5-7. メニューデリゲーション機能.....	31
		2-5-8. バスステータス表示.....	31
		3. 外形寸法図.....	32
		4. 定格.....	33
		保証とアフターサービス.....	裏表紙

取扱説明書の構成について

- 本機の取扱説明書は、基本編（本書）と操作・設定編（CD-ROM）に分かれています。本機を設置する前に、必ず基本編をお読みいただき、正しく設置してください。
- 本書では、設置のしかたと映像出力の確認のしかた、OSD メニューの操作について説明しています。本機の操作や設定のしかたは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書 操作・設定編」（PDF ファイル）をお読みください。
PDF ファイルをお読みになる場合には、アドビシステムズ社の Adobe® Reader® が必要です。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

電源を入れたまま工事、配線をしない



禁止

火災や感電の原因となります。

ケーブルなどは引っ張らない












禁止

火災や感電の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください











警告

<p>ケーブルなどを傷つけない</p> <p> 重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>付属品・オプションは指定の製品を使用する</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。</p>	<p>水場で使用しない</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>
<p>落としたり、破損させたりしない</p> <p> 本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。</p> <p>●直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>	<p>機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない</p> <p> 水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。</p> <p>水ぬれ禁止</p> <p>●直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>	<p>コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V - 120 V 以外での使用はしない</p> <p> たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>アースを確実に接続する</p> <p> 付属の電源コードはアース端子付き 3 芯プラグです。アースに接続された 3 極コンセントに接続してください。アースの接続がされていないと、故障や漏電による感電の原因となります。</p> <p>●販売店に相談してください。</p>	<p>湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない</p> <p> 火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>付属の AC アダプター以外は使用しない</p> <p> 付属の AC アダプター以外を使用すると、電圧や+-の極性が異なることがあるため、発煙・火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>

安全上のご注意

必ずお守りください






警告

<p>電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）</p>	<p>長時間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く</p>  <p>火災や感電の原因となります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む</p>  <p>差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。</p> <p>●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>
<p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。</p> <p>禁止</p> <p>●コードやプラグの修理は販売店に相談してください。</p>	<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない</p>  <p>感電の原因となります。</p> <p>ぬれ手禁止</p>	<p>振動や強い衝撃を与えない</p>  <p>火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>異常があるときは、すぐ使用をやめる</p>  <p>煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物破壊の原因となります。</p> <p>●放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。</p>	<p>電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く</p>  <p>コードが傷つき、火災や感電の原因となります。</p>	<p>不安定な場所に置かない</p>  <p>落下や転倒によるけがや事故の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>移動させる場合は外部の接続線を外す</p>  <p>電源コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。</p> <p>●移動させるときは、電源スイッチを切り、外部接続ケーブルを外したことを確認してください。</p>	<p>電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く</p>  <p>コードが傷つき、火災や感電の原因となります。</p> <p>●移動させるときは、電源スイッチを切り、外部接続ケーブルを外したことを確認してください。</p>	<p>電源プラグのほこりなどは定期的にとる</p>  <p>プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。</p> <p>●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。</p>

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

<p>分解しない、改造しない</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p> <p>●修理や点検は、販売店に連絡してください。</p>	<p>本機の上に重いものを置かない</p> <p> バランスが崩れて倒れたり、落下したりするなど、けがの原因となります。また、火災、感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>異物を入れない</p> <p> 水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p> <p>●直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>
<p>お手入れのときは電源を切り、電源プラグを抜く</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>1年に1度は、販売店に内部の掃除のご相談を！</p> <p> 本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。</p>	

注意

<p>通風孔、冷却ファンをふさがない</p> <p> 内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>		
--	--	--

はじめに

■概要

本機は、HD/SD マルチフォーマットに対応した 1ME デジタルビデオスイッチャーです。コンパクトサイズながら、SDI 入力 4 系統、DVI-D 入力 1 系統、SDI 出力 2 系統、DVI-D 出力 1 系統を装備しています。

カット、ミックス、ワイプによるバックグラウンドトランジションに加え、キーヤーと PinP をそれぞれ 1 チャンネル搭載し、多彩な映像制作を可能にします。

また、マルチビューディスプレイの設定により、最大 10 系統の映像を 1 台のモニターに分割して表示することができるため、モニターの数減らし、低コストで省スペースのシステムが構築できます。IP 接続することで、HD インテグレートドカメラ AW-HE50 とリモートカメラコントローラー AW-RP50 と連携した操作環境を実現します。

■取扱説明書について

- 本書では、AW-HE50HN と AW-HE50SN を「AW-HE50」と記載しています。
- 本書では、特定した機器を示す場合を除いて、「回転台とカメラの組み合わせ」、または「回転台一体型カメラ」のことを、総称して「リモートカメラ」と記載しています。

■商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7 および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

■定格表示について

本機の名称、品番、電気定格は、底面に表示されています。

はじめに

■免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- ⑦登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- ⑧本体やPCに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

■ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ①本機を経由した情報の漏えいや流出
 - ②悪意を持った第三者による本機の不正操作
 - ③悪意を持った第三者による本機の妨害や停止
- このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。
- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
 - PCが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
 - 公衆回線を利用した接続はしない。

特 長

コンパクト設計

- 横幅：ハーフラックサイズ (210 mm)、奥行：4RUサイズ (177 mm) のコンパクト設計です。
リモートカメラコントローラー AW-RP50 (別売品) も同一サイズです。本機と横に並べて配置すると、フルラック幅に収まります。

マルチフォーマット対応

- 信号フォーマットは、HD フォーマット (1080/59.94i、1080/50i、1080/24PsF、1080/23.98PsF、720/59.94p、720/50p)、SD フォーマット (480/59.94i、576/50i) に対応しています。

入力5系統、出力3系統を装備

- SDI入力4系統 (SDI IN 1 ~ SDI IN 4)、DVI-D入力1系統 (DVI IN) を装備しています。
- SDI出力2系統 (SDI OUT1、SDI OUT 2)、DVI-D出力1系統 (DVI OUT) を装備しています。

フレームシンクロナイザー方式

- 入力すべてにフレームシンクロナイザーを内蔵し、非同期の映像信号をショックなく切り替えることができます。

アップコンバーター 2 ch、Dot by Dot 4 ch、ビデオプロセス 4 chを内蔵

- SDI IN 3とSDI IN 4にはアップコンバーターを内蔵しています。
- SDI IN 1 ~ SDI IN 4全てにDot by Dot機能を内蔵しています。
本機能とPinPを併用することで、SD素材を画質劣化無くHD映像にはめ込むことができます。
- SDI IN 1 ~ SDI IN 4全てにビデオプロセス機能を内蔵しているため、スイッチャーの入力段階で色を調整することができます。

マルチビューディスプレイ機能

- マルチビューディスプレイ機能を1ch装備。
画面の分割数は、10/9/6/5/4分割から選択可能です。
- 各分割画面には、入力素材に加え、PGM、PVW、AUXなどの素材を割り付けることができます。

多彩なエフェクト機能を搭載

- バックグラウンドトランジションタイプは、ワイプ、ミックスから選択できます。
- キーヤー 1chを搭載しています。キータイプはリニアキー、ルミナンスキー、クロマキーから選択できます。
- PinP 1ch、AUXバス1系統を搭載しています。
PinPバス、AUXバスでの素材切り替え効果は、カットだけでなく、MIXトランジションを選択することが可能です (バストランジション機能)。

フレームメモリー (8 bit) を 2 ch内蔵

- フレームメモリーに保存された静止画像を、バス素材として選択することができます。
- LAN経由で本機と接続したホストコンピューターから各フレームメモリーへ静止画を転送できます。

オーディオレベルメーター表示機能

- SDI入力で伝送されるエンベデッドオーディオ信号のレベル表示をすることができます。

特 長

シンプルでフレキシブルな操作性

- Aバス/Bバス、各列に5個のクロスポイントボタンを配置。SHIFTボタンとの併用により、計10系統の映像をスイッチングすることができます。また、CUTボタンによるカット切り替えも可能です。
- PinP、KEY、FTBのオン/オフを、独立ボタンによりワンアクションで行うことができます。
- スライドレバーは、バックグラウンドトランジション操作のほか、PinP、KEYのフェードIN/OUTの操作に割り当てることができます。
- USERボタンを2個配置。
SHIFTボタンとの併用により計4個のユーザー設定(USER1～4)を割り当てることができます。USERボタンには、PinPの設定や、WIPEパターンの設定を割り当てることができます。

OSD (オンスクリーンディスプレイ)

- SDI OUT 2とDVI OUTの出力からは、設定メニューを外部モニターに表示することができます。(SDI OUT 1からの出力では、表示することができません。)

IP接続によるリモートカメラコントローラーとのリンク機能

- 弊社のリモートカメラコントローラーとネットワークで接続することができます。
本機とリモートカメラコントローラーをリンクさせることにより、効率の良い操作環境を実現します。

対応リモートカメラコントローラー：

AW-RP50

リモートカメラコントローラーに対して、本機は1台のみリンク可能です。

[カメラ情報表示]

AW-RP50が取得したカメラ設定情報(アイリス、ゲインなど)を、AUX出力やマルチビューディスプレイの分割画面に表示することができます。

[タリー情報送信]

本機のON AIRタリー情報を、AW-RP50に送信することができます。

[素材の切り替え]

AW-RP50から、スイッチャー(本機)のバス素材を選択することができます。

AW-RP50でのカメラ選択に連動してバス素材を切り替えることができます。

(制御バス対象：AUX、PVW、PinP、KEY-F)

[フォーカスアシスト機能]

AW-RP50のボタン操作で、マルチビューディスプレイの画面からカメラ映像のフル画面に切り替えることができます。

(制御バス対象：AUX)

[PAN/TILTレバーとZOOMボタンでのパラメーター操作]

AW-RP50のPAN/TILTレバーとZOOMボタンを使って、スイッチャー(本機)のパラメーターを変更することができます。

付属品

付属品をご確認ください。

取扱説明書 基本編(本書)	1	ACアダプター	1
CD-ROM.....	1	電源コード(1.5 m).....	1

- 取扱説明書 基本編
- 取扱説明書 操作・設定編
- データ転送ソフトウェア
(Data Transmission Software)

必要なPCの環境

本機に付属するソフトウェアは、下記の条件を満たすホストコンピューターでご使用ください。

CPU	Intel® Core™2 DUO 2.4 GHz以上推奨
メモリー	Microsoft® Windows® XP : 512 MB以上推奨 Microsoft® Windows Vista®, Microsoft® Windows® 7 : 1 GB以上推奨
ネットワーク機能	10BASE-Tまたは100BASE-TX
画像表示機能	解像度：1024×768ピクセル以上 発色：True Color (24 bit以上)
対応OS	Microsoft® Windows® XP、Microsoft® Windows Vista®, Microsoft® Windows® 7
ハードディスク	50 MB以上の空き容量
その他	CD-ROMドライブ (取扱説明書および各種ソフトウェアを使用するため) Adobe® Reader® (CD-ROM内の取扱説明書を閲覧するため)

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで制作された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

*経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】をご参照してください。

使用上のお願い

●「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

取り扱いにはいねいに

落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。また、スライドレバーを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

使用温度範囲は、0℃～+40℃でお使いください。

0℃以下の寒い所や+40℃以上の暑い所では内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

湿気、ホコリの少ないところで

湿気、ホコリの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますので教えてください。

お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。

お願い

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

制作時のご注意

本機の映像切り替え機能や映像効果機能を用いると、細かく点滅する映像や急激に変化する映像を制作することができます。

このような映像は、視聴者の身体へ影響を与える可能性がありますので、制作時には、特にご留意ください。

廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

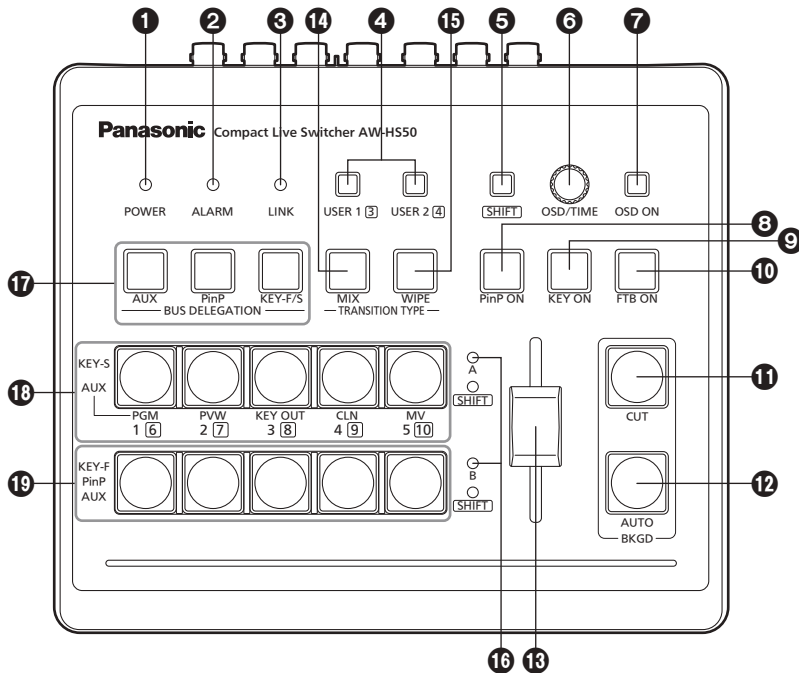
消耗品について

- 冷却ファン：
冷却ファンは消耗品です。
約5年（1日に15時間使用時）を目安に交換してください。
- ACアダプター：
ACアダプターは消耗品です。
約5年（1日に15時間使用時）を目安に交換してください。

消耗品の交換時期は、使用条件により異なります。
消耗品を交換する場合は、必ず、販売店に依頼してください。

1. 各部の名前とはたらき

1-1. 制御パネル部



① POWER ランプ [POWER]

DC IN 端子 (25) に電源が供給されているときに、背面の POWER スイッチ (20) を ON にすると点灯します。

② ALARM ランプ [ALARM]

冷却ファン (27) が停止しているとき、または電源に異常 (電圧低下) があるときや本機の内部が高温になったときに点灯します。

このとき、外部モニターに OSD メニューを表示している場合 (OSD ON 状態) は、OSD メニューにアラームメッセージが表示されます。

アラーム情報は、本機の TALLY/GPI 端子 (26) から外部機器に出力することもできます。

⇒操作・設定編「5-2. TALLY/GPI」参照

アラームが発生した場合は、すぐに使用を中止し、必ず販売店へご連絡ください。

そのまま使用すると、本機が故障する原因となることがあります。

③ LINK ランプ [LINK]

別売のリモートカメラコントローラー AW-RP50 とネットワーク上でリンクしているときに点灯します。

本機と AW-RP50 の両方でリンクの設定を有効にする必要があります。

1. 各部の名前とはたらき

④ USER ボタン [USER 1、USER 2]

メニュー項目の中から任意に選んだ4つの機能を、USER 1 ボタンとUSER 2 ボタンにアサインして使用することができます。

USER 1 ボタンには、[USER1]と[USER3]に登録した機能がアサインされ、USER 2 ボタンには、[USER2]と[USER4]に登録した機能がアサインされます。

SHIFT ボタン (⑤) を押している間は、[USER3]、または[USER4]に登録した機能が選択できます。

点灯：USER ボタンにアサインした機能が有効

消灯：USER ボタンにアサインした機能が無効

OSDメニューに[2] WIPE Menu、[3] PinP Menu、[5] KEY Adjust Menuのいずれかが表示されているときやクロスマーカーがONの状態のときは、特定の設定項目に対するショートカットボタンになります。

⇒操作・設定編「1-8. USER ボタンの設定」参照

⑤ SHIFT ボタン [SHIFT]

USER 1 ボタンとUSER 2 ボタンにアサインされた[USER3]、[USER4]の機能を呼び出すときや、クロスポイントボタン[1]～[5]にアサインされたXPT6～XPT10の素材を呼び出すときに押します。

点灯：SHIFT ボタンが有効

消灯：SHIFT ボタンが無効

(SHIFT ボタンは、押している間のみ有効です)

⑥ OSD/TIME ダイヤル [OSD/TIME]

OSD/TIME ダイヤルで以下の操作を行います。

● メインメニューが表示されているとき

OSD/TIME ダイヤルを回してサブメニューを選択し、ダイヤルを押して決定します。

● サブメニューが表示されているとき

OSD/TIME ダイヤルを回して設定項目を選択し、ダイヤルを押して決定します。

設定値が点滅しているときにダイヤルを回すと、設定値が変化し、ダイヤルを押すと点滅部分が右に移動します。

設定値が点滅しているときにダイヤルを長押しすると、設定値が初期値に戻ります。

(ただし、ネットワークの設定は、初期値に戻りません。)

● PinP ON、KEY ON、FTB ON、AUTOのいずれかのボタンを長押ししたあと、押した状態のままダイヤルを回すと、それぞれのトランジションタイムを変更することができます。

⑦ OSD ON ボタン [OSD ON]

OSDメニューの表示と非表示を切り替えます。

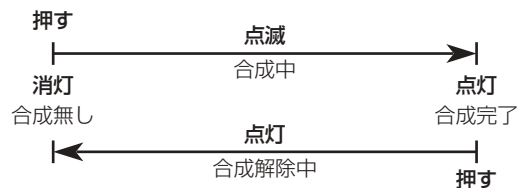
OSD ON ボタンを長押しするごとに、表示と非表示が切り替わります。

点灯：OSDメニュー表示

消灯：OSDメニュー非表示

⑧ PinP ON ボタン [PinP ON]

設定されたトランジションタイムで、PinP (ピクチャーインピクチャー) 映像の合成を行います。

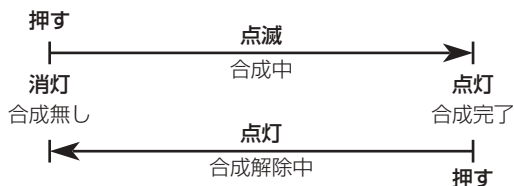


ボタンを長押ししたあと、押した状態のまま OSD/TIME ダイヤル (⑥) を回すと、トランジションタイムを変更することができます。

1. 各部の名前とはたらき

⑨ KEY ON ボタン [KEY ON]

設定されたトランジションタイムで、キー素材の合成を行います。

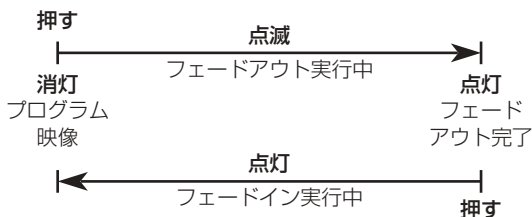


ボタンを長押ししたあと、押した状態のままでも OSD/TIME ダイヤル (6) を回すと、トランジションタイムを変更することができます。

⑩ FTB ON ボタン [FTB ON]

設定されたトランジションタイムで、プログラム映像が黒画面へフェードアウトします。

再度押すと、黒画面からプログラム映像へフェードインします。



フェードアウトする画面は、黒画面以外の映像を設定することもできます。

⇒操作・設定編「1-5. FTB (フェードトゥブラック)」参照

ボタンを長押ししたあと、押した状態のままでも OSD/TIME ダイヤル (6) を回すと、トランジションタイムを変更することができます。

⑪ CUT ボタン [BKGD CUT]

現在選択されている操作のトランジションを瞬時にを行います。

点灯：トランジション実行中

消灯：トランジション終了

⑫ AUTO ボタン [BKGD AUTO]

設定されたトランジションタイムで、トランジションを自動で行います (オートトランジション)。

点灯：オートトランジション実行中

消灯：オートトランジション終了

オートトランジションを行っているときに AUTO ボタンを押すと、オートトランジションの動作を中断します。

中断中に再度押すと、残りのトランジションを行います。

スライドレバー (13) が途中の状態でも AUTO ボタンを押すと、途中からの残り時間でトランジションを行います。

ボタンを長押ししたあと、押した状態のままでも OSD/TIME ダイヤル (6) を回すと、トランジションタイムを変更することができます。

⑬ スライドレバー

手動 (マニュアル) でトランジションを行うときに使用します。

スライドレバーを末端まで動かすと、トランジションが完了します。

オートトランジションを行っているときにスライドレバーを動かすと、スライドレバーの位置が実行中のトランジション量を追い越した時点でマニュアル動作に切り替わります。

トランジションを行う素材は、バッググラウンド、キー、PinPのいずれかをメニューで選択できます。

1. 各部の名前とはたらき

⑭ MIX ボタン [MIX]

AバスとBバスの映像（もしくは、PGMバスとPSTバスの映像）をオーバーラップさせながら、トランジションを行います（MIX トランジション）。

トランジションを行っているときは、AバスとBバス（もしくは、PGMバスとPSTバス）の出力の合計が100%に保たれます。

MIX ボタンを押すと点灯し、選択状態になります。このときWIPE ボタン（⑮）を押すと、選択が解除されて消灯します。

点灯：MIX トランジション選択中

⑮ WIPE ボタン [WIPE]

選択されているワイプパターンにより、トランジションを行います。

WIPE ボタンを押すと点灯し、選択状態になります。

このときMIX ボタン（⑭）を押すと、選択が解除されて消灯します。

また、WIPE ボタンを長押ししたあと、押した状態のままでOSD/TIMEダイヤル（⑥）を回すと、ワイプパターンを変更することができます。

点灯：ワイプ選択中

⑯ バスタリーランプ [A、B]

プログラム (PGM) 出力されているバス側のランプが点灯します。

⑰ BUS DELEGATION ボタン

[AUX、PinP、KEY-F/S]

クロスポイントボタン（⑱、⑲）で選択した素材を出力するバスを選択します。

3つのボタンが消灯している状態と、3つの内いずれか1つのボタンが点滅している状態の、合計4つの状態があります。（ボタンが2つ点滅している状態はありません。）

- 3つのボタンが消灯している状態で、いずれか1つのボタンを押すと、そのボタンが点滅します。
- 1つのボタンが点滅している状態で、点滅中のボタンを押すと、そのボタンが消灯します。点滅していないボタンを押すと、押したボタンのみが点滅した状態になります。

各状態での動作は、以下のようになります。

1. 3つのボタンが消灯しているとき：

バックグラウンドトランジションを行うバスの素材を選択する状態です。

2. AUX ボタンが点滅しているとき：

AUXバスの素材を選択する状態です。

3. PinP ボタンが点滅しているとき：

PinPバスの素材を選択する状態です。

4. KEY-F/S ボタンが点滅しているとき：

キーフィルバス、およびキーソースバスの素材を選択する状態です。

1. 各部の名前とはたらき

⑱ Aバスクロスポイントボタン [1 ~ 5]

⑲ Bバスクロスポイントボタン [1 ~ 5]

PGMバス、PSTバス、AUXバス、PinPバス、KEY-F/Sバスに出力する素材を切り替えます。ボタンを押して割り当てられた素材が選択されると、ボタンが点灯します。

BUS DELEGATION ボタン (⑳) の点滅状態により、以下のように動作が変わります。

1. 3つのボタンが消灯しているとき：

各クロスポイントボタンを押すと、バックグラウンドトランジションを行うバスの素材が切り替わります。

[Bバスクロスポイントボタン]

PSTバスの素材を選択します。

[1] ~ [5] を押すと、XPT1 ~ 5 にアサインされた素材が選択されます。

SHIFT ボタンを押しながら [1] ~ [5] を押すと、XPT6 ~ 10 にアサインされた素材が選択されます。

[Aバスクロスポイントボタン]

PGMバスの素材を選択します。

[1] ~ [5] を押すと、XPT1 ~ 5 にアサインされた素材が選択されます。

SHIFT ボタンを押しながら [1] ~ [5] を押すと、XPT6 ~ 10 にアサインされた素材が選択されます。

2. AUX ボタンが点滅しているとき：

各クロスポイントボタンを押すと、AUXバスの素材が切り替わります。

[Bバスクロスポイントボタン]

[1] ~ [5] を押すと、XPT1 ~ 5 にアサインされた素材が選択されます。

SHIFT ボタンを押しながら [1] ~ [5] を押すと、XPT6 ~ 10 にアサインされた素材が選択されます。

[Aバスクロスポイントボタン]

[1] ~ [5] を押すと、PGM、PVW、KEY OUT、CLN、MV がそれぞれ選択されます。

3. PinP ボタンが点滅しているとき：

Bバスクロスポイントボタンを押すと、PinPバスの素材が切り替わります。

[Bバスクロスポイントボタン]

[1] ~ [5] を押すと、XPT1 ~ 5 にアサインされた素材が選択されます。

SHIFT ボタンを押しながら [1] ~ [5] を押すと、XPT6 ~ 10 にアサインされた素材が選択されます。

4. KEY-F/S ボタンが点滅しているとき：

各クロスポイントボタンを押すと、キーフィルバス、もしくはキーソースバスの素材が切り替わります。

[Bバスクロスポイントボタン]

キーフィルバスの素材を選択します。[1] ~ [5] を押すと、XPT1 ~ 5 にアサインされた素材が選択されます。

SHIFT ボタンを押しながら [1] ~ [5] を押すと、XPT6 ~ 10 にアサインされた素材が選択されます。

[Aバスクロスポイントボタン]

キーソースバスの素材を選択します。

[1] ~ [5] を押すと、XPT1 ~ 5 にアサインされた素材が選択されます。

SHIFT ボタンを押しながら [1] ~ [5] を押すと、XPT6 ~ 10 にアサインされた素材が選択されます。

メモ

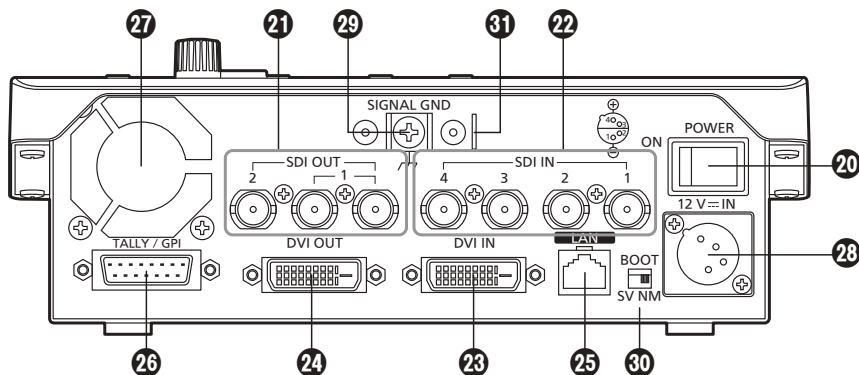
OSDメニューにより、バスモードをA/B、PGM(A)/PST(B)、PGM(B)/PST(A) から選択することができます。

上記は、PGM(A)/PST(B) モードを選択した場合の説明となります。

⇒操作・設定編「1-1-4. バスモードの選択」参照

1. 各部の名前とはたらき

1-2. 背面部



⑳ POWERスイッチ [POWER]

POWERスイッチをONにするとPOWERランプ(①)が点灯し、操作することができます。

㉑ SDI OUT端子 [SDI OUT 1、2]

HD/SD SDI信号の出力端子です。メニュー操作により、以下の信号をアサインすることができます。

PGM、PWV、CLN、AUX、MV、KEYOUT

- SDI OUT 1端子は、2分配出力です。同一の信号が出力されます。
- SDI OUT 1端子には、OSDメニュー、マルチビューディスプレイの枠、タリー情報、素材名、オーディオレベルメーターは表示されません。
- ハイレゾリューションマルチビューモードが有効になっているときは、MVをアサインすることはできません。

㉒ SDI IN端子 [SDI IN 1～4]

HD/SD SDI信号の入力端子です。メニュー操作により、以下の入力モードを設定することができます。

SDI IN 1、2 : Normal、DbyD

SDI IN 3、4 : Normal、DbyD、UC、Auto
SDI IN 1～4全ての入力信号に対し、ビデオプロセス機能を使用することができます。

- SDI IN 1、2は、アップコンバーターを使用することはできません。
- システムフォーマットと異なる信号が入力されたときは、黒信号になります。(ただし、システムフォーマットがHDで入力モードがDbyD、UCのときは、垂直周波数が同一のSD信号を入力できます。)

㉓ DVI IN端子 [DVI IN]

DVI-D信号の入力端子です。以下の解像度の信号を入力できます。

デジタルRGB (垂直周波数 : 60 Hz) :

XGA (1024 × 768)、WXGA (1280 × 768)、
SXGA (1280 × 1024)、
WSXGA+ (1680 × 1050)、
UXGA (1600 × 1200)、
WUXGA (1920 × 1200)

デジタルRGB :

1920 × 1080/50p、1920 × 1080/59.94p

- アナログ信号を入力することはできません。また、DVI-Iケーブルを使用することはできません。

1. 各部の名前とはたらき

24 DVI OUT 端子 [DVI OUT]

DVI-D 信号の出力端子です。

メニュー操作により、出力解像度を以下から選択できます。

デジタルRGB (垂直周波数 : 60 Hz) :

XGA (1024 × 768)、WXGA (1280 × 768)、
SXGA (1280 × 1024)、
WSXGA+ (1680 × 1050)、
UXGA (1600 × 1200)、
WUXGA (1920 × 1200)

デジタルRGB :

1920 × 1080/50p、1920 × 1080/59.94p

また、メニュー操作により、以下の信号をアサインすることができます。

PGM、PVW、CLN、AUX、MV、KEYOUT

ハイレゾリューションマルチビューモードに対応しており、システムフォーマットがSDのときに高解像度で映像を出力できます。

- アナログ信号を出力することはできません。
また、DVI-Iケーブルを使用することはできません。
- ハイレゾリューションマルチビューモードを有効にしたときは、DVI OUT 端子にMVがアサインされ、SDI OUT 1 端子とSDI OUT 2 端子にMVをアサインすることができません。

25 LAN 端子 [LAN] (RJ-45)

(10BASE-T/100BASE-TX)

IP 接続対応のリモートカメラ、リモートカメラコントローラー、およびホストコンピューターをLANケーブルで接続します。

本機と機器を直接接続する場合は、クロスケーブル (カテゴリー 5 以上) を使用してください。

ハブ (スイッチングハブ) 等を経由して接続する場合は、ストレートケーブル (カテゴリー 5 以上) を使用してください。

26 TALLY/GPI 端子 [TALLY/GPI]

(D-sub 15 ピン、メス、インチねじ)

外部機器から本機の制御を行う接点入力ポートを5個、本機からタリー情報やアラーム情報を出力するオープンコレクター出力ポートを7個装備しています。

27 冷却ファン

28 DC IN 端子 [12V \equiv IN]

(DC 12 V、2.0 A)

付属のACアダプターを接続します。

29 グランド端子 [SIGNAL GND]

システムのグランドに接続してください。

30 SERVICE スイッチ [SV/NM]

メンテナンス用のスイッチです。

通常は、「NM」の位置で使用してください。

31 ワイヤ取り付け金具

盗難防止のために、市販の盗難防止用ワイヤーを取り付ける金具です。

2. 準備

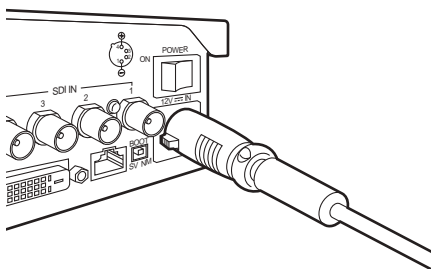
2-1. 設置上のご注意

●「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機を設置するときや接続工事を行うときは、必ず、販売店に依頼してください。

電源の接続について

- AC 100 V ~ 120 V で使用してください。
- 付属の電源コードと AC アダプターを必ず使用してください。
- 背面のグランド端子 (SIGNAL GND) は、システムのグランドに接続してください。
- DC プラグは、ロックするまで奥に差し込んでください。
- 長時間使用しないときは、節電のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



取り扱いはいないに

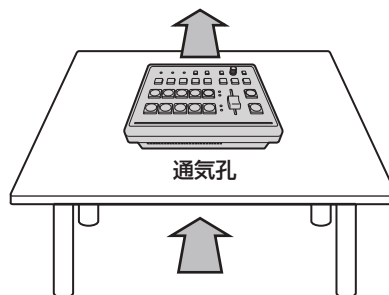
- 落としたり、強い衝撃や振動を与えると、故障や事故の原因になります。

内部に異物を入れないでください。

- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

設置場所について

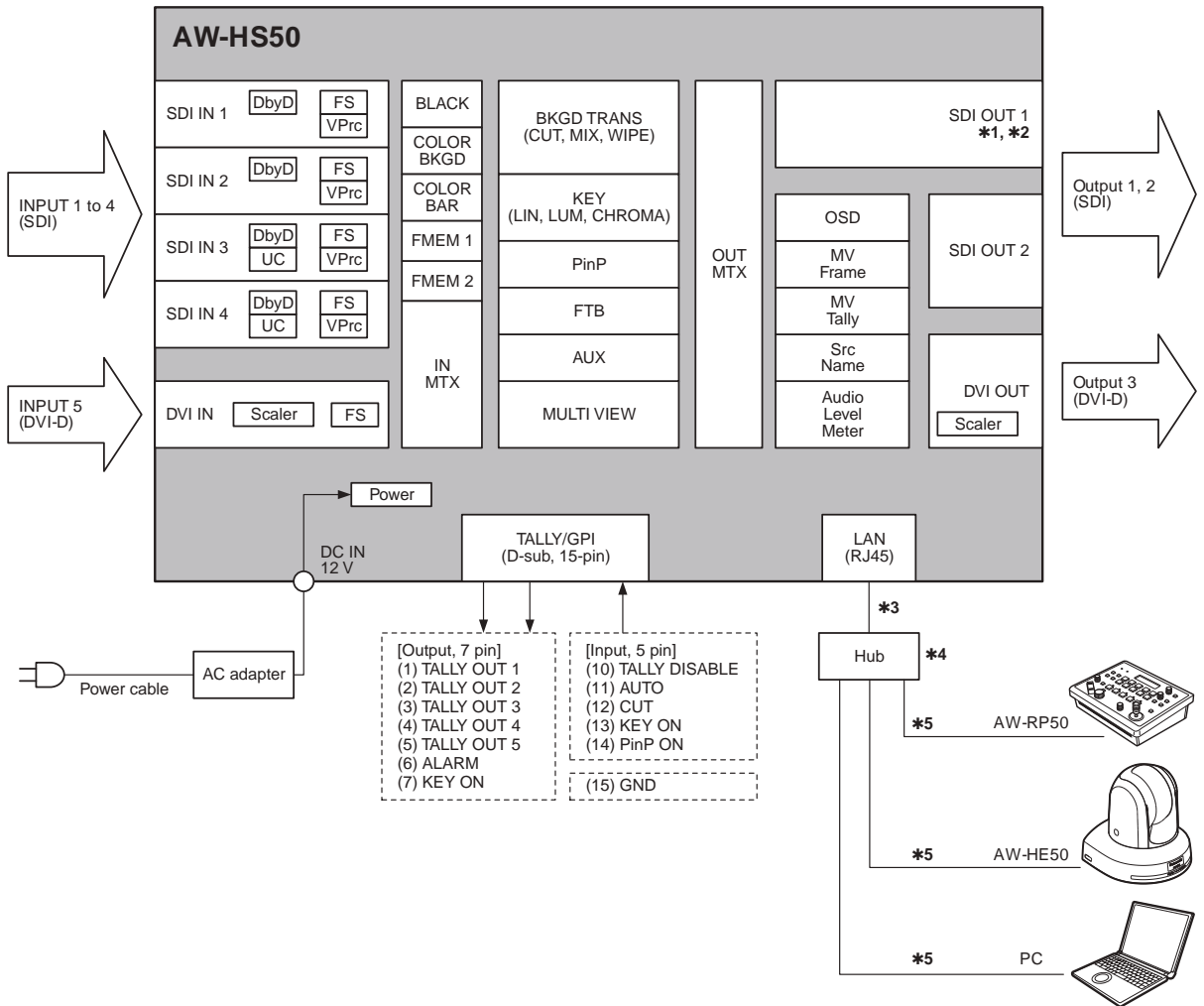
- 本機は、屋内専用の機器です。
- 十分な強度があり、安定した水平な場所に置いて使用してください。
- 前面および背面の通気孔周辺は、通風の妨げにならないように 100 mm 以上の空間を確保してください。
特にパネルやテーブルに埋め込んで使用する場合は、通気と配線の空間を十分に確保してください。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください。
- 0 °C 以下の寒いところや、+40 °C 以上の暑いところに設置しないでください。
- 直射日光の当たるところや温風の吹き出し口付近への設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。



2. 準備

2-2. 他の機器と接続する

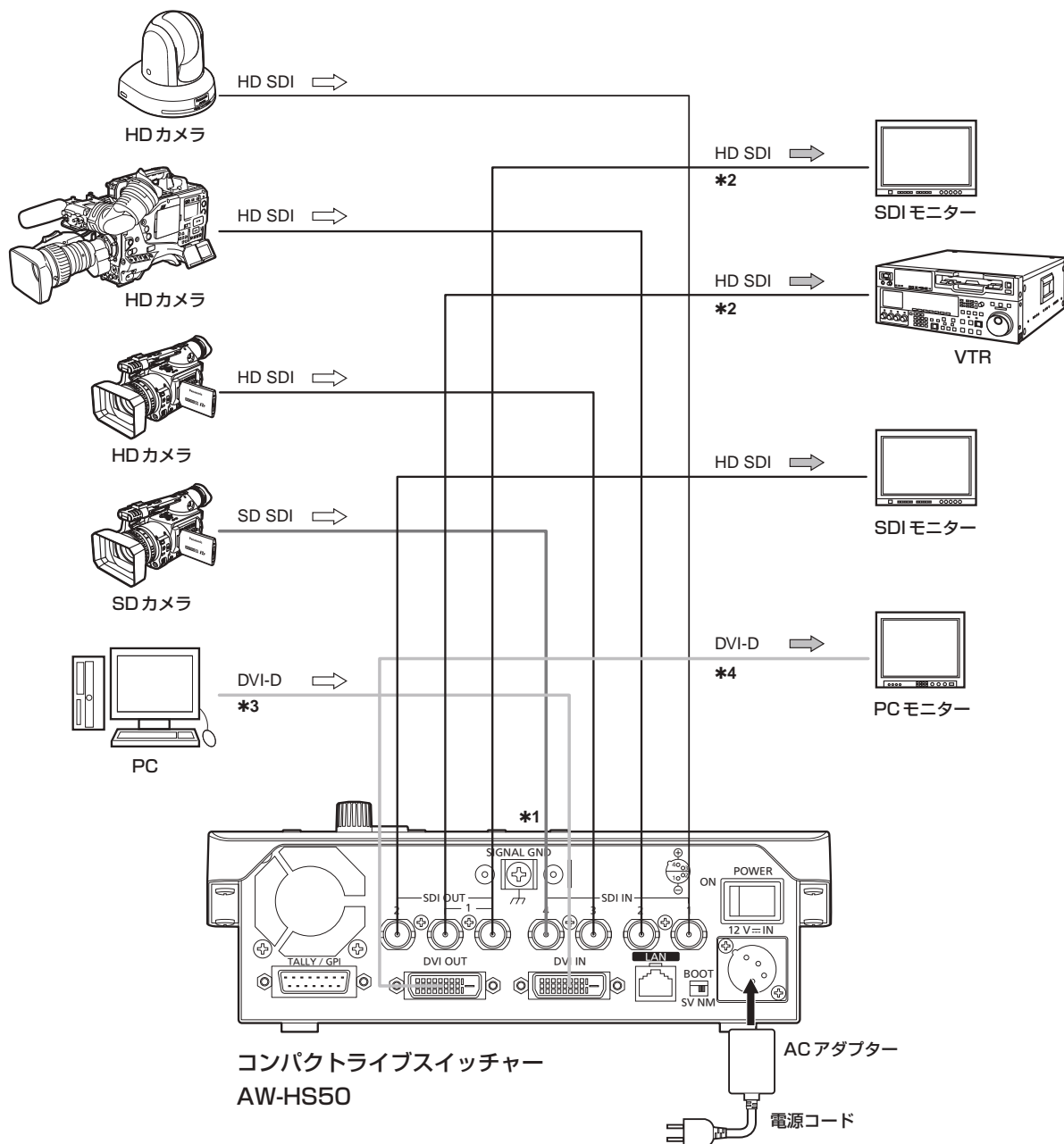
2-2-1. ブロックダイアグラム



- *1 : SDI OUT 1 は、2分配出力です。
- *2 : SDI OUT 1 からの出力には、設定メニュー (OSD)、マルチビューディスプレイの枠、タリー情報、素材名、オーディオレベルメーターは表示されません。
- *3 : 本機と他の機器をハブ (スイッチングハブ) を介さずに 1 対 1 で接続するときは、クロスケーブルを使用してください。
- *4 : スwitchングハブを使用してください。
- *5 : インターネットを経由した通信はできません。

2. 準備

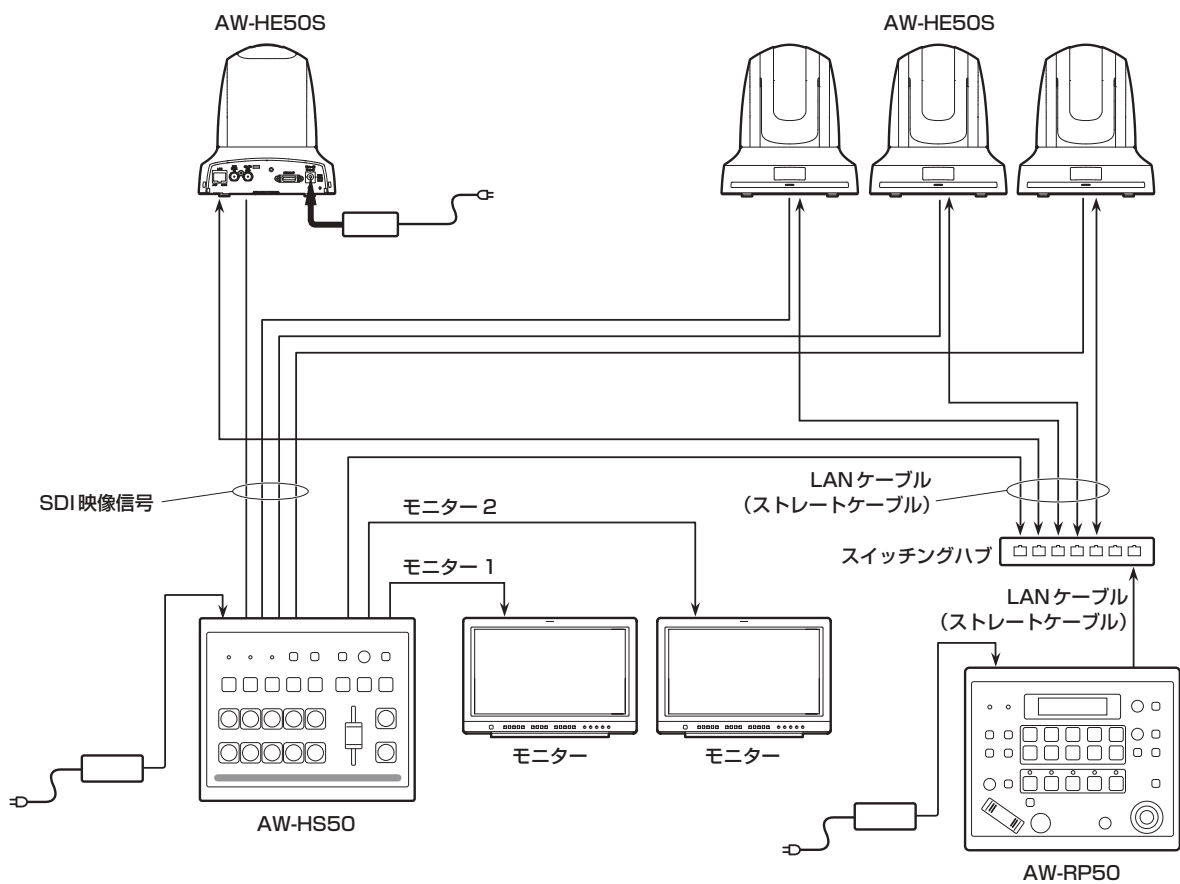
2-2-2. 接続例



- *1: アップコンバーターは、SDI IN 3、4のみ有効となります。
(Dot by Dotは、SDI IN 1～4全ての入力で有効です。)
- *2: SDI OUT 1から出力される2つの信号は、同一の信号です。
また、OSDメニュー、マルチビューディスプレイの枠、タリー情報、素材名、オーディオレベルメーターは表示されません。
- *3: アナログ信号の入力には対応していません。
- *4: アナログ信号の出力には対応していません。

2. 準備

● IP接続例 (AW-HE50、およびAW-RP50との接続)



2. 準備

2-3. 電源の入れかたと切りかた

■ 電源の入れかた

1 POWERスイッチをONにする

本機に電源が供給されると、POWERランプが緑色に点灯します。

■ 電源の切りかた

1 POWERスイッチをOFFにする

本機の電源が切れて、POWERランプが消灯します。

2-4. 映像出力の確認

ここでは、本機のOSDメニューを外部モニターに表示し、本機の映像出力を確認するための操作を説明します。

2-4-1. PCモニターに表示する

1 本機のDVI OUT端子にPCモニターを接続する

2 PCモニターの電源を入れる

3 本機の電源を入れる

4 OSD ONボタンを長押しする

OSD ONボタンが点灯し、PCモニターにOSDメニューが表示されます。

OSDメニューが表示されない場合は、「2-5-2. OSDメニューの強制表示方法」を参照してください。

ご注意

本操作を行っても、PCモニターにOSDメニューが表示されないときは、PCモニターが本機のDVI出力フォーマットに対応していない可能性があります。
PCモニターの入力仕様を確認してください。

2. 準備

2-4-2. SDI モニターに表示する

1 本機のSDI OUT 2端子にSDIモニターを接続する

2 SDIモニターの電源を入れる

3 本機の電源を入れる

4 OSD ON ボタンを長押しする

OSD ON ボタンが点灯し、SDIモニターにOSDメニューが表示されます。

OSDメニューが表示されない場合は、「2-5-2. OSDメニューの強制表示方法」を参照してください。

ご注意

- SDI OUT 1 端子からOSDメニューは出力されません。
- 本操作を行っても、SDIモニターにOSDメニューが表示されないときは、本機に設定されたビデオフォーマットが正しくない可能性があります。

次に記載している操作で、本機のビデオフォーマットを変更してください。

⇒「ビデオフォーマットの変更」参照

●ビデオフォーマットの変更

本機にSDIモニターを接続しても、OSDメニューが表示できない場合は、ビデオフォーマットの変更が必要です。

以下の手順でビデオフォーマットの変更を行ってください。

PCモニターでOSDメニューを表示できるときは、操作・設定編の「4-1-1. ビデオフォーマットの設定」で、ビデオフォーマットを変更してください。

1 本機の電源を切る

2 SDIモニターが対応しているビデオフォーマットに応じたボタンを押した状態で電源を入れる

同時に押すボタン	ビデオフォーマット
[OSD ON] + Aバスクロスポイント [1]	1080/59.94i
[OSD ON] + Aバスクロスポイント [2]	1080/50i
[OSD ON] + Aバスクロスポイント [3]	720/59.94p
[OSD ON] + Aバスクロスポイント [4]	720/50p
[OSD ON] + Aバスクロスポイント [5]	1080/24PsF
[OSD ON] + Bバスクロスポイント [1]	1080/23.98PsF
[OSD ON] + Bバスクロスポイント [2]	480/59.94i
[OSD ON] + Bバスクロスポイント [3]	576/50i

3 OSD ON ボタンを長押しする

OSD ON ボタンが点灯し、SDIモニターにOSDメニューが表示されます。

ご注意

本操作を行っても、SDIモニターにOSDメニューが表示されないときは、SDIモニターが本機のSDI出力フォーマットに対応していない可能性があります。

SDIモニターの入力仕様を確認してください。

2. 準備

2-5. OSD（オンスクリーンディスプレイ）メニューの操作

本機の設定は、外部モニターに表示されたOSDメニューで行います。

ここでは、OSDメニューの操作のしかたを説明します。

2-5-1. OSDメニューの表示／消去

●基本操作

OSD ON ボタンを長押しすると、OSD ON ボタンが点灯し、外部モニターにOSDメニューが表示されます。

また、OSDメニューが表示されている状態で、OSD ON ボタンを長押しすると、OSD ON ボタンが消灯してOSDメニューの表示が消えます。

ご注意

マルチビューディスプレイの枠にOSDメニューの一部が重なる場合は、分割画面の枠や文字が表示されません。

●OSDメニューを出力する端子の変更

[13] Operation Menu	
> 1. OSD OUT	SDI-OUT2+DVI-OUT
2. OSD Size	FULL
3. OSD Back	On
4. Key Priority	PinP over KEY
5. Bus Mode	PGM(A)/PST(B)
6. Time Unit	Sec
7. Slide Lever	BKGD
8. GPI Input	Enable
9. GPI Output	Enable
10. CamCont Link	Off
11. SYSTEM Menu	Unlocked

[13] Operation Menuの「1. OSD OUT」項目の設定で、OSDメニューの出力端子が変更できます。

SDI-OUT2 :

SDI OUT 2 端子から出力

DVI-OUT :

DVI OUT 端子から出力

SDI-OUT2+DVI-OUT :

SDI OUT 2 端子と DVI OUT 端子の両方から出力

ご注意

SDI OUT 1 端子からは、OSDメニューが出力されません。

2-5-2. OSDメニューの強制表示方法

SHIFT ボタンを押しながらOSD ON ボタンを長押しすると、以下が自動的に設定されます。

- OSD ON ボタンが点灯し、外部モニターにOSDメニューが表示されます。
- OSDメニューの出力先がSDI OUT 2 端子とDVI OUT 端子の両方に設定されます。
- DVI OUT 端子から出力されるOSDメニューの画面サイズがAutoに設定されます。
(接続されたPCモニターの入力仕様に合わせたサイズで出力されます。)

2. 準備

2-5-3. メニュー構成と移動

●本機のメニュー構成

本機のOSDメニューは、「メインメニュー」と「サブメニュー」の2階層から構成されます。

メインメニュー：

サブメニュー項目を表示します。

サブメニュー：

設定項目、および設定値を表示します。

この画面で設定値の変更を行います。

●メインメニュー、サブメニュー間の移動

メインメニューからサブメニューへの移動

サブメニュー項目の選択：

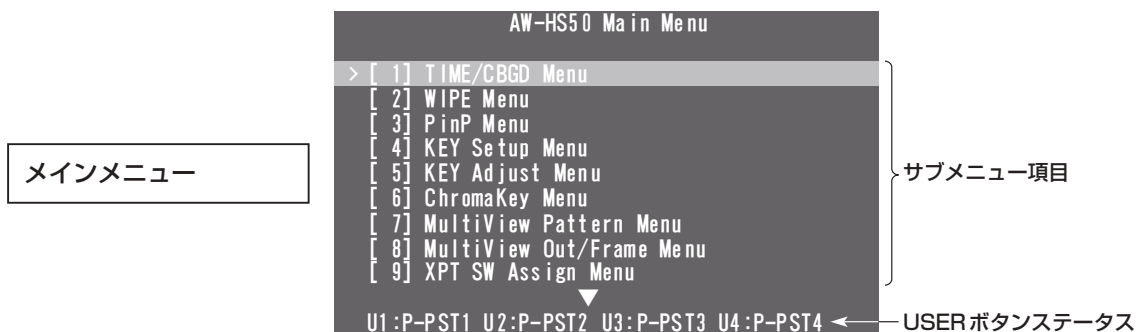
OSD/TIMEダイヤルを回して選択します。

サブメニュー項目の決定：

OSD/TIMEダイヤルを押して決定します。

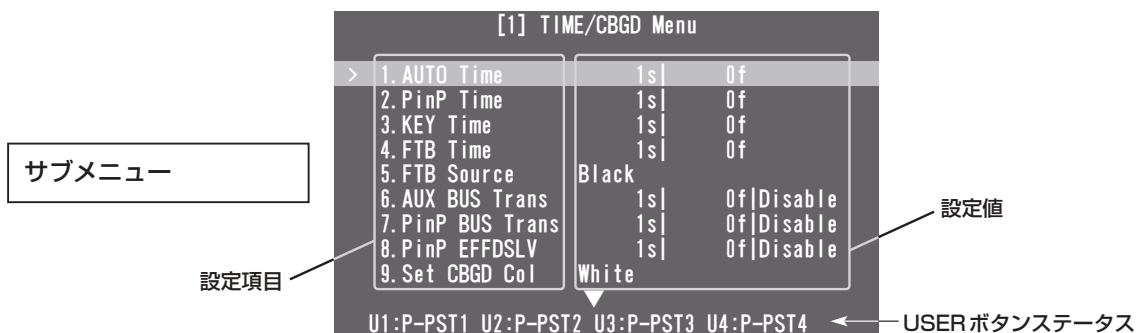
サブメニューからメインメニューへの移動

OSD ON ボタンを押すとメインメニューに戻ります。



- OSD/TIMEダイヤルを回してサブメニュー項目を選択する
- OSD/TIMEダイヤルを押して決定する

- OSD ON ボタンを押す



●USER ボタンステータス表示

各メニュー画面の最終行には、USER ボタン 1 ~ 4 にアサインされている機能が表示されます。

⇒操作・設定編「1-8. USER ボタンの設定」参照

- 本書では、特別な場合を除き、USER ボタンステータスの表示部分を省略して、メニュー画面を記載しています。

●複数ページに渡るメニューの表示

設定項目が多い場合、複数ページに渡ってメニュー項目が表示されます。

「▲」や「▼」が表示されているときは、その手前の行でOSD/TIMEダイヤルを回すと、画面がスクロールして隠れている項目が表示されます。

- 本書では、複数ページに渡るメニュー画面についても、1つの画面に記載しています。

2. 準備

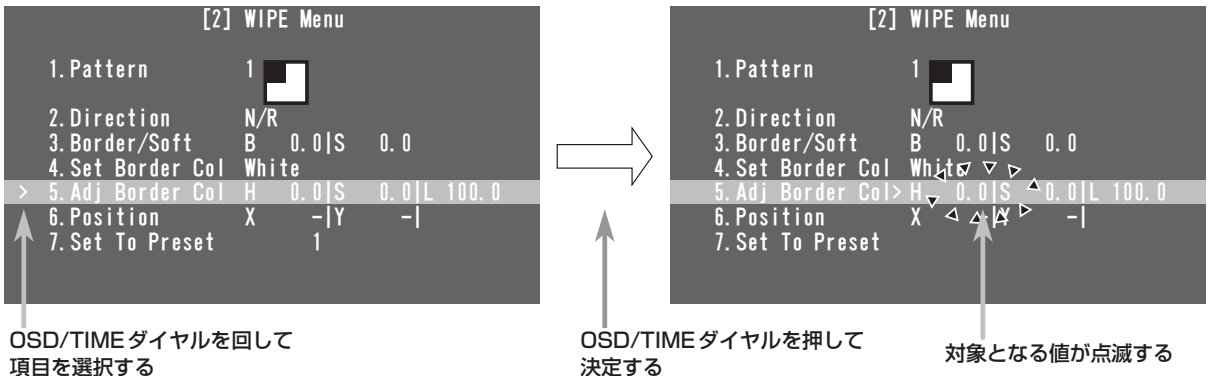
2-5-4. サブメニューでの操作

1 設定行を選択する

OSD/TIME ダイヤルを回すと、左端のカーソル “>” が上下します。

変更したい設定項目の行にカーソルを合わせた後、OSD/TIME ダイヤルを押すと、カーソル “>” が中央へ移動して設定値が変更できる状態になります。

このとき、設定の対象となる値が点滅します。



2 設定値を変更する

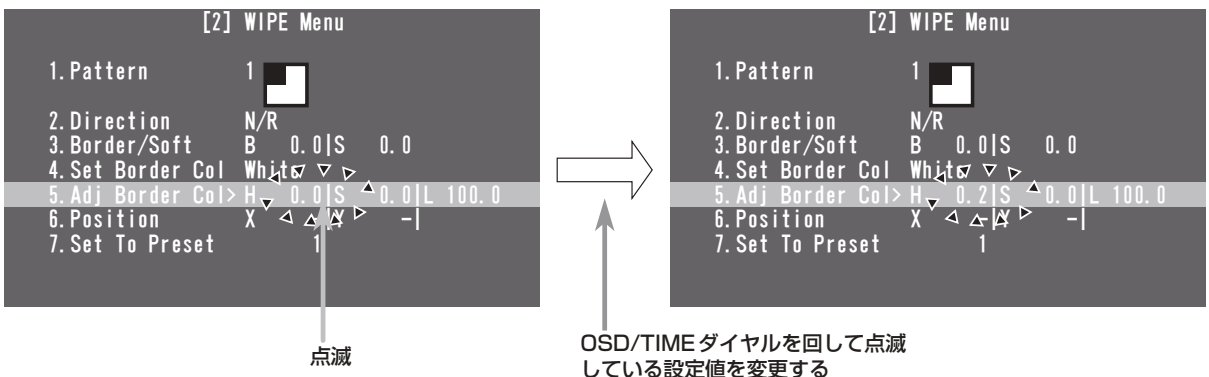
設定値が点滅している状態でOSD/TIMEダイヤルを回すと、点滅部分の設定値が変化します。

- 小数点以下の値が2桁までである場合、SHIFT ボタンを押しながらOSD/TIMEダイヤルを回すと、値の変化が早くなります。

メモ

通常の設定項目は、変更した値がそのまま反映されますが、一部の設定項目 (Format など) では、変更したあとにOSD/TIMEダイヤルを押さないと設定値が反映されない項目があります。

これらの項目には、現在設定されている設定値の前に “*” が表示されています。



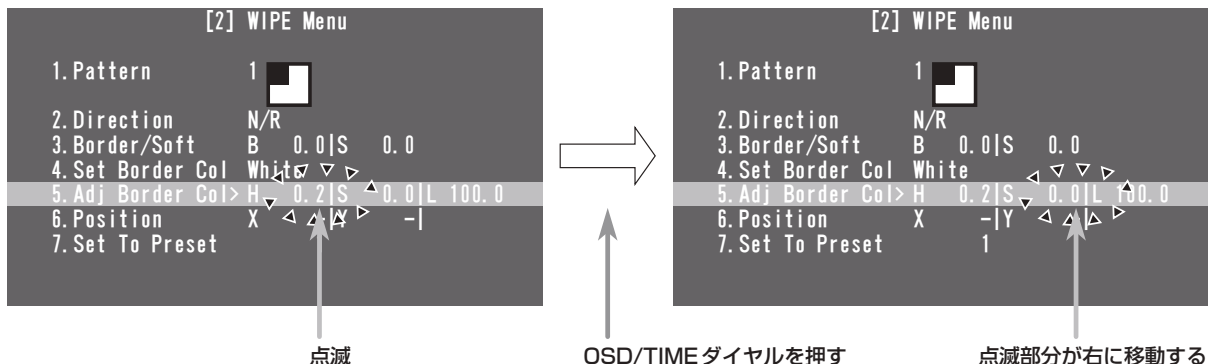
[設定値を初期値に戻す]

ここで、OSD/TIMEダイヤルを長押しすると、値が初期値に戻ります。

2. 準備

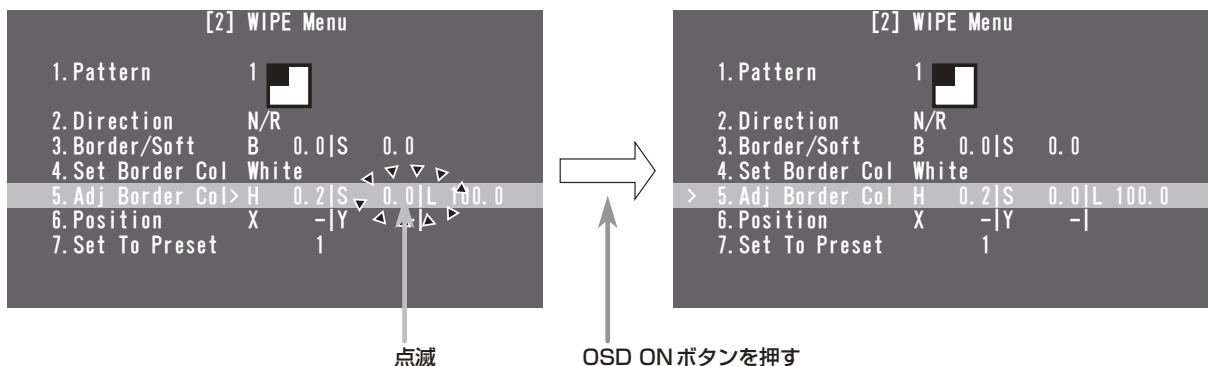
3 点滅部分を移動する

1つの設定項目に複数の設定値がある場合、OSD/TIMEダイヤルを押すと、点滅部分が右へ移動します。



4 変更を終了する

設定値が点滅している状態でOSD ONボタンを押すと、カーソル“>”が左端へ移動し、設定行を選択する状態に戻ります。

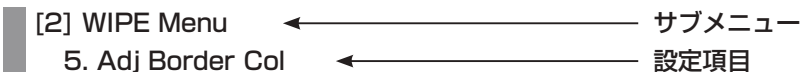


また、点滅部分が一番右にある状態でOSD/TIMEダイヤルを押したときも、カーソル“>”が左端へ移動し、設定行を選択する状態に戻ります。

2-5-5. 取扱説明書での表記

本機の取扱説明書では、設定項目の操作を下記のように記載します。

例：[2] WIPE Menuの「5. Adj Border Col」項目の操作をするとき



2. 準備

2-5-6. USER ボタンと OSD/TIME ダイアルでのダイレクト操作

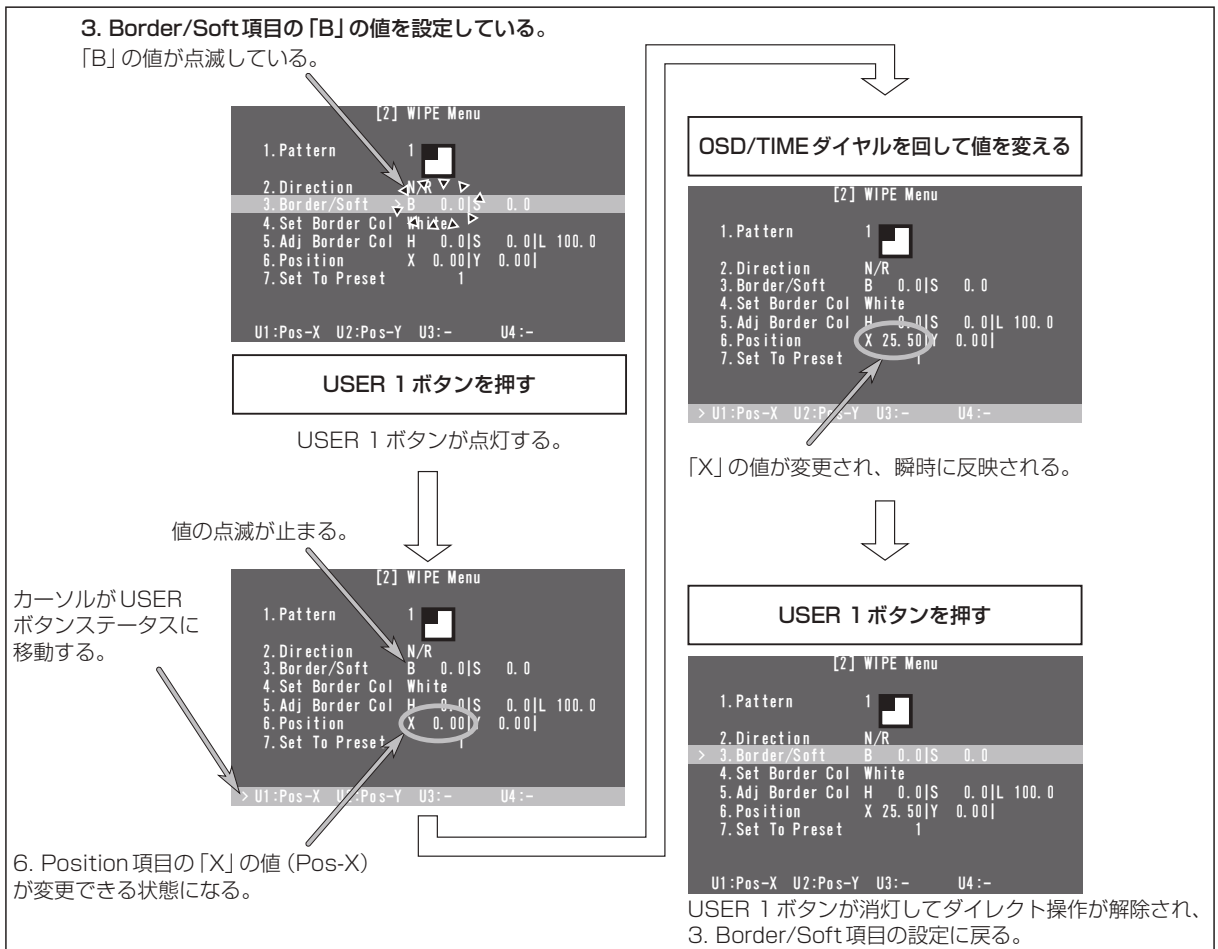
USER ボタンステータスの表示部分には、USER ボタンにアサインされている機能が表示されますが、下記の状態では、USER ボタンと OSD/TIME ダイアルでダイレクトに操作できる設定項目が表示されます。このときは、USER ボタンにアサインされている機能が無効になります。

- クロマキーマーカーを表示しているとき
- サブメニュー [2] WIPE Menu を表示しているとき
- サブメニュー [3] PinP Menu を表示しているとき
- サブメニュー [5] KEY Adjust Menu を表示しているとき

このとき、該当する USER ボタンを押すとステータスに表示されている設定値を変更する状態になり、OSD/TIME ダイアルを回すと値が変更されます。変更された値は、瞬時に反映されます。

U1 : USER 1 ボタン
U2 : USER 2 ボタン
U3 : USER 3 ボタン (SHIFT ボタン+USER 1 ボタン)
U4 : USER 4 ボタン (SHIFT ボタン+USER 2 ボタン)

例 : [2] WIPE Menu を表示しているとき



2. 準備

2-5-7. メニューデリゲーション機能

下記のボタンをダブルクリックすると、特定されたメニューに切り替わります。

(メニューデリゲーション機能)

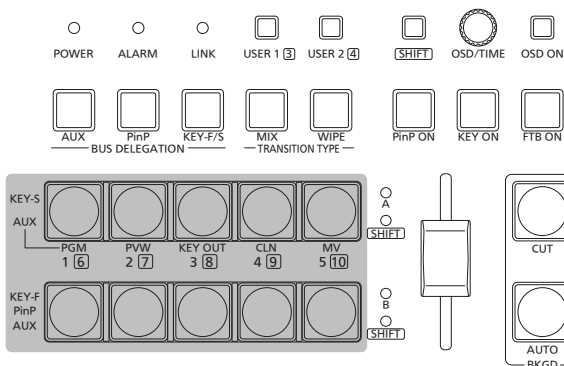
このとき、各ボタンを押したときの動作も実行されます。

<メニューデリゲーション機能一覧>

ボタン	切り替わるメニュー
AUTO	[1] TIME/CBGD Menu
FTB ON	
KEY ON	
PinP ON	
WIPE	[2] WIPE Menu
PinP	[3] PinP Menu
KEY-F/S	<ul style="list-style-type: none"> キーのタイプ (Key Type) で「Chroma」以外を選択しているとき [4] KEY Setup Menu キーのタイプ (Key Type) で「Chroma」を選択しているとき [6] ChromaKey Menu
USER 1	[12] USER/FMEM Menu
USER 2	
USER 3 (SHIFT + USER 1)	
USER 4 (SHIFT + USER 2)	

2-5-8. バスステータス表示

Aバス、またはBバスのクロスポイントボタンを長押しすると、OSDメニューにBUS Assign Statusを表示します。

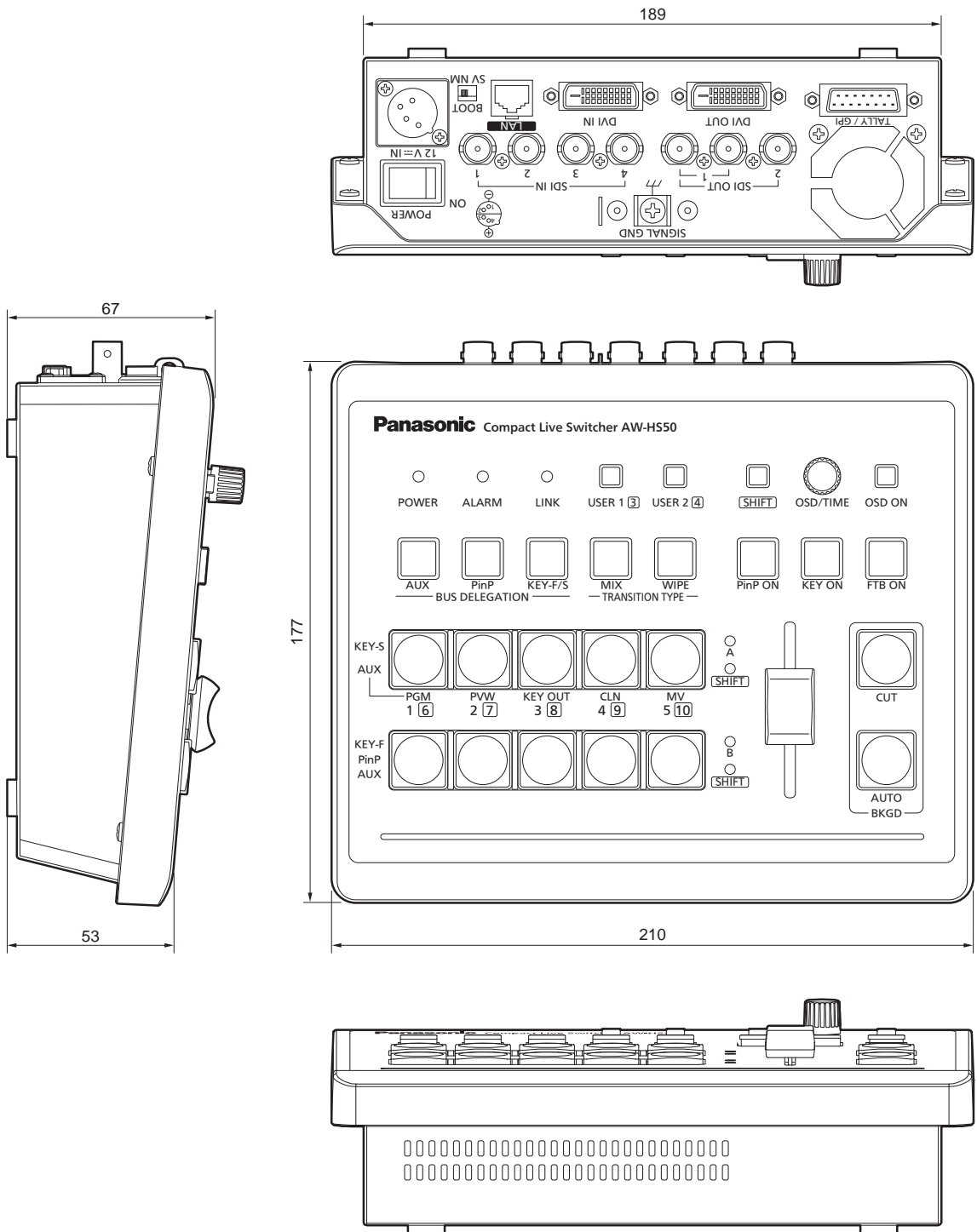


BUS Assign Status	
XPT SW	1
XPT SW Assign	SDI-IN1 (INPUT1)

PGM	SDI-IN1 (INPUT1)
PVW	SDI-IN2 (INPUT2)
AUX	MV
PinP	SDI-IN1 (INPUT1)
KEY Fill	CBGD
KEY Source	FMEM1

3. 外形寸法図

単位：mm



4. 定格

入力	映像5系統 SDI 4系統：SDI IN 1～SDI IN 4 DVI-D 1系統：DVI IN	
出力	映像3系統4出力 SDI 2系統：SDI OUT 1、SDI OUT 2 (SDI OUT 1のみ2分配出力) DVI-D 1系統：DVI OUT	
信号フォーマット	SD	480/59.94i、576/50i
	HD	1080/59.94i、1080/50i、720/59.94p、720/50p、 1080/24PsF、1080/23.98PsF
信号処理	Y：Cb：Cr 4：2：2 10 bit (ただしフレームメモリーは8 bit) RGB 4：4：4 8 bit	
ME数	1ME	
SDI入力	HD：シリアルデジタルコンポーネント (SMPTE292M) SD：シリアルデジタルコンポーネント (SMPTE259M)	
	4系統：SDI IN 1～SDI IN 4	
	HD：SMPTE292M (BTA S-004B) 準拠 ・0.8 V [p-p] ± 10 % (75 Ω) ・入力リターンロス 15 dB以上 (5 MHz～1.5 GHz) ・自動イコライザー 100 m (5C-FBケーブル使用時)	
	SD：SMPTE259M 準拠 ・0.8 V [p-p] ± 10 % (75 Ω) ・入力リターンロス 15 dB以上 (5 MHz～270 MHz) ・自動イコライザー 200 m (5C-2Vケーブル使用時)	
DVI-D入力	デジタルRGB (垂直周波数：60 Hz)： XGA (1024×768)、WXGA (1280×768)、 SXGA (1280×1024)、WSXGA+ (1680×1050)、 UXGA (1600×1200)、WUXGA (1920×1200) デジタルRGB：1080/50p、1080/59.94p ● アナログ入力はサポートしていません。	

4. 定格

SDI出力	HD：シリアルデジタルコンポーネント (SMPTE292M) SD：シリアルデジタルコンポーネント (SMPTE259M)
	2系統：SDI OUT 1、SDI OUT 2 (SDI OUT 1のみ2分配出力)
	HD：SMPTE292M (BTA S-004B) 準拠 ・出力リターンロス 15 dB以上 (5 MHz～1.5 GHz) ・出力レベル 0.8 V [p-p] ± 10 % (75 Ω) ・立ち上がり時間 270 ps未満 ・立ち下がり時間 270 ps未満 ・立ち上がり時間と立ち下がり時間の差 100 ps以下 ・アライメントジッター 0.2 UI (130 ps) 以下 ・タイミングジッター 1.0 UI以下 ・アイ開口率 90 %以上 ・DCオフセット 0 ± 0.5 V
	SD：SMPTE259M準拠 ・出力リターンロス 15 dB以上 (5 MHz～270 MHz) ・出力レベル 0.8 V [p-p] ± 10 % (75 Ω) ・立ち上がり時間 1.5 ns以下 ・立ち下がり時間 1.5 ns以下 ・立ち上がり時間と立ち下がり時間の差 0.5 ns以下 ・ジッター 0.2 UI以下
DVI-D出力	デジタルRGB (垂直周波数：60 Hz)： XGA (1024 × 768)、WXGA (1280 × 768)、 SXGA (1280 × 1024)、WSXGA+ (1680 × 1050)、 UXGA (1600 × 1200)、WUXGA (1920 × 1200) デジタルRGB：1080/50p、1080/59.94p ● ハイレゾリューションマルチビューモード対応： システムモードがSDのときでも高解像度で出力します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ハイレゾリューションマルチビューモードを有効にしたときは、 DVI OUT 端子にMVがアサインされ、SDI OUT 1 端子と SDI OUT 2 端子にMVをアサインすることができません。 </div> ● アナログ出力はサポートしていません。
映像遅延時間	1 フレーム (F) ● PinP、マルチビューディスプレイ、DVI-D入力、DVI-D出力を經由した映像信号は、それぞれ最大1フレームの遅延が加わります。

4. 定格

制御 I/O	LAN (RJ-45) 10BASE-T/100BASE-TX (IP 制御用)	接続ケーブル： LANケーブル (カテゴリ 5 以上)、 最大 100 m、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブルを推奨 <ul style="list-style-type: none">ハブ (スイッチングハブ) に接続する場 合は、ストレートケーブルを使用してくだ さい。ハブを介さずに他の機器を 1 対 1 で接 続するときは、クロスケーブルを使用して ください。
	TALLY/GPI (D-sub 15 ピン、メス、 インチねじ)	INPUT : 5 入力、フォトカプラ受け OUTPUT : 7 出力、オープンコレクター出力 (負論理)
その他	SERVICE スイッチ [SV/NM] (メンテナンス用) 通常は、「NM」の位置で使用してください。	

動作温度	0 ~ 40 °C
湿度	10 ~ 90 % (結露なきこと)
電源電圧	DC \equiv 12 V \pm 10 % (AC アダプター添付)
消費電流	2.0 A (DC \equiv 12 V)
外形寸法	210 (幅) \times 67 (高) \times 177 (奥行) mm (突起部含まず)
質量	1.4 kg

■ 付属の AC アダプター

定格入力 : AC ~ 100 V - 240 V、1.2 A、50/60 Hz

定格出力 : DC \equiv 12 V、3.0 A

付属の電源コードは、定格が AC ~ 125 V 以下です。
AC ~ 100 V - 120 V で使用してください。

- 必ず付属の AC アダプターと電源コードをご使用ください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、
お買い上げの販売店からお受け取りください。よ
くお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このコンパクトライブスイッチャーの補
修用性能部品の、製造打ち切り後8年保有してい
ます。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維
持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ
ご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	コンパクトライブスイッチャー
品番	AW-HS50
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

- **保証期間中は**
保証書の規定に従って、出張修理をさせてい
ただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご要
望により修理させていただきます。下記修理
料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談くださ
い。
- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで
構成されています。
 - 技術料** は、診断・故障個所の修理および部品
交換・調整・修理完了時の点検
などの作業にかかる費用です。
 - 部品代** は、修理に使用した部品および補助
材料代です。
 - 出張料** は、お客様のご依頼により製品のあ
る場所へ技術者を派遣する場合
の費用です。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2016